

## 第8回 みやぎ小・中学生いじめ防止動画コンクール入賞作品一覧



### 【最優秀賞】

大衡村立大衡中学校  
大衡中学校生徒会

「いいね」

私はこの作品を通して、本当の「いいね」の行動をみんなに知ってほしいと思い、この動画を制作しました。SNSでの「いいね！」欲しさのあまり、他人のプライバシーを勝手に投稿したり、頑張っている人を小馬鹿にしたりする内容を書く主人公のような書き込みは、ネット上にたくさんあると思います。そのような投稿に、簡単に「いいね」をしてしまう行為はいじめにつながります。投稿されている内容は、本当に「いいね！」と言えるものですか。「友達だから」という理由で「いいね！」を押していませんか。

いじめ防止のために、人の気持ちを考える行動を意識したり、SNSを利用する責任の重さを、この動画を見て考えたりしてほしいと思います。



### 【優秀賞】

松島町立松島第一小学校  
松島一小企画委員会

「世界の心のキャッチャーに！！」

松島第一小学校は、小さなけんかはあるけれど、男の子も女の子も、上学年も下学年も、とても仲の良い学校です。

学校が日本三景松島のど真ん中にあるということもあり、「いじめゼロはあたりまえに」、世界中の人たちとも心を開いて友達になれる大人を目指したいと思います。



大丈夫。

### 【優秀賞】

松島町立松島中学校  
松島中学校生徒会

「わたしは、」

いじめで悲しむ人を目の当たりにしたとき、あなたならどうしますか。

いじめによって、誰も信じることができなくなってしまった「あの子」。でも、その心に光を灯したのは、たった一言の「おはよう」でした。些細なことでも、誰かを救うきっかけになるのです。あなたの中にある優しさ。そして小さな勇気。いじめを生まず、みんなが一緒に歩いていくためのきっかけは、いつも「わたし」の中にあるのかもしれないという想いを、作品を通して訴えます。



【優良賞】

利府町立利府第二小学校  
利府第二小学校児童会

「当たり前的一步」

目を見てあいさつをしたり、ブランコを譲り合ったりするなど、普段何気なくしている当たり前の行動のように、いじめを防ぐことは特別なことではないということを伝えたい。

また、見て見ぬふりをすることなく、自分の言動一つで救われる人がいることを伝えたい。



【優良賞】

気仙沼市立津谷小学校  
津谷小学校 6年1組

「愛言葉は『みやぎ』」

私たちはCMを制作しながら、いじめ問題について全員で真剣に考えることを大切にしてきました。

短いCMの中で私たちの思いを全て伝えることは難しいことでしたが、合言葉の「み・や・ぎ」は、私たちの自慢の言葉になりました。台本を作り、合言葉を作り、気持ちを一つにし、私たちはますます強い学級になりました。

私たち6年生がリードし、今より仲良く、さらに温かい学校をみんなで作っていきたいです。



【優良賞】

名取市立増田中学校  
増田中学校生徒会

「優しさの葉」

暗く、沈んだ気持ちでいる女子生徒の気持ちを、「枯れた木」で表しています。また、女子生徒が周りの友達から優しい言葉をもらうことで徐々に明るい気持ちになっていく様子は、葉っぱの茂った「豊かな木」で表しています。

小・中学生だけでなく、小さな子どもたちにも、人を元気な気持ちにさせる言葉を使ってほしいなと思い、CMをつくりました。また、今何かに悩んでいる人にも、必ず自分を助けてくれる人がいるということを伝えたいです。



【佳作】

大崎市立三本木小学校  
三本木小学校みつば児童会

「一步、前進。」

いじめられたときはすごく悲しくなるし、不安になってつらくなります。そんなときは、マイナスのイメージしかわなくて、だれにも相談できずに悩んでしまいます。

そんな自分のことを誰もわかってくれない気がして、「私はひとりぼっちだなあ。」と孤独を感じます。でも、きっと誰かは分かってくれるし、助けてくれる友達もいるはずです。だから勇気を出して思っていることを伝えたいと思います。顔を上げて笑いたいです。あきらめずに前を向いて一步前進したいです。



【佳作】

栗原市立志波姫小学校  
志波姫小学校児童会

「学級会 ～みんなで話してなくそういじめ～」

私たち志波姫小学校5年生は、学活の時間に「いじめをなくすために」をテーマに学級会を行いました。

その話合いでは、みんな真剣に考えて、動画にあるようにたくさん手をあげて発表しました。

話合いの最後には、いじめをなくすための学級の取組の一つとしていじめ防止動画づくりに参加することをみんなで決めました。

今回の動画では、そのときの話合いで出た「仲間はずれにしないこと」や「人のいやがることをしないこと」など、みんなで決めた約束を動画の中に入れました。この動画を見たみなさんに私たちのメッセージが伝わると嬉しいです。



【佳作】

東松島市立鳴瀬桜華小学校  
鳴瀬桜華小学校第6学年

「仲間がいるよ」

この作品で訴えたいことは、ひとりぼっちだと感じる人も声をかけてあげる人も、少しの勇気があれば友達と仲良くできるようになり、学校が楽しくなるということです。

みんなで楽しく活動しているところに入っていけない人がいたら、誰かが声をかけてあげると、一人だった人もうれしい気持ちになって友達と仲良くなれるし、友達と一緒に活動すると学校が楽しくなります。

クラスにひとりぼっちの人がいたら、声をかけてあげて、みんなで仲良くしてもらいたいという気持ちを込めて制作しました。





【佳作】

岩沼市立岩沼中学校  
岩沼中学校生徒会

「2人なら...」

一見、何にも違和感がなくみんなと仲良くしている人でも、実はいじめに悩んでいるかもしれません。そのような人の気持ちに気付いてあげて、一緒に思いを届けてほしい、そんな思いをこの動画に込めました。動画内での「紙飛行機」は本人の「思い」を表しています。最初は1人でその紙飛行機を飛ばしますが、すぐ落下してしまいます。つまり、本人の思いはみんなのもとまで届かなかったのです。しかし、そんな小さな思いに気付いた友達が駆け寄り、そして一緒に紙飛行機を飛ばします。すると、その紙飛行機は希望に向かって高く飛んでいきました。1人では届かなかった「思い」が友達と一緒に飛ばすことでみんなのもとへと力強く飛んでいったのです。この作品のように1人で思いを伝えることはとても難しいです。近くのあの人もし一人で悩んでいるかもしれません。その思いに私たちが気づき、共に思いを届けるべきだと、この作品を通して訴えます。



【佳作】

大和町立宮床中学校  
宮床中生徒会執行部

「さしだす勇氣」

「器が大きい」「器が小さい」というように、私たちの心はよく器に例えられて表現されます。ではその器に、たくさんのマイナスの感情を溜め続けたらどうなるのでしょうか。友だちからの何気ない一言、相手からの心ない行動、そこで生じる黒い感情があふれたら、器の大きさに関係なく心が壊れてしまうと思います。辛い、苦しい、逃げたい、そんな思いを抱えているクラスメイトに気付いたら、思いがあふれる前に声をかける、相手の話を聞くなど、自分にできることを行動に移してほしいです。そうすることで相手の心の曇りも晴れていくと思います。一度壊れた心は簡単には元に戻りません。誰かの心があふれてしまう前に手を差し伸べよう、そんな思いを私たちはこの作品に込めました。



【佳作】

南三陸町立志津川中学校  
生徒会執行部

「 (無題) 」

私達はいじめ防止動画を制作する際、「いじめが起こった時、起こる前に第三者はどんなことができるか」ということに注目しました。その中でいじめを止めることができる、またいじめを起こさない雰囲気づくりが大切であると感じました。そして、題名を「 」にすることで、この動画をご覧になった皆さんにいじめを止めるために、そしていじめを生み出さないためには“何をしていくことが大切なのか”を考えていただきたいと思いました。